

地域を支える

農

農業人

WAZABITO

PROFILE

いいだ ゆきお

飯田 行男 さん

IIDA YUKIO

74歳

あま市石作

モロヘイヤを収穫する飯田さん



市場へ出荷するモロヘイヤ

農業を続けるうえで、何より大切にしているのは健康管理です。早寝早起きを心掛けながら、一日の作業としては早朝の収穫から始まり、午前中に荷造りを済ませてから午後に出荷します。また、冬期は出荷後でも翌日に向けて収穫作業をすることもあります。

より良い栽培を行えるように、YouTubeで農業に関する動画を視聴して知識を深め、年間の栽培スケジュールや使用した肥料、農業などの情報をデータで管理し、蓄積していくことで分析を重ねています。一方で、害虫による被害を受けることや、雨量が少ない時期はモロヘイヤの茎が硬くなってしまうなどの問題に悩まされることもあります。それでも飯田さんは、「色々な課題に直面しても、「生涯学習」を信条に頑張ります」と前向きに捉えています。

今後の目標として、より効率的な農業を目指すとともに、若い世代や定年退職後の方にも農業の魅力を知り、就農して欲しいと願っています。最後に「モロヘイヤはおひたしだけではなく、天ぷらやオムレツにしても美味しく食べられます。健康にも良い野菜ですので、小売店などで見かけた際は、ぜひとも手に取っていただき食べてもらえると嬉しいですよ」とメッセージをいただきました。

分析や改善を重ねながら より良い農産物を市場へ

あま市石作で、夏はモロヘイヤ、冬はホウレンソウを中心にコマツナも栽培する飯田行男さんは、約15aの圃場を管理しながら、碓日寺園芸協議会に所属して共撰出荷を行っています。親の代から農業に動んできたこともあり、定年退職後に就農しました。現在は、奥さまのサポートも受けながら、14年間にわたり農業に従事しています。

モロヘイヤの栽培を始めた当初は、播種をしても思うように生育しないこともありましたが、しかし、地元の先輩農家やJAに相談することで一つ一つ課題を改善してきました。それでも、「野菜を栽培することは、毎日が試行錯誤の連続です」と話します。